

令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果(国語・算数)

7月末に全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。今年度は、国語・算数の2教科について調査が行われました。以下、本校の取組結果と今後の取り組みなどについてご報告します。どちらの教科も、主に日常生活の場面を想定した設定で問題が作成されており、各教科の知識を用いて考えたり、まとめたりする構成となっています。

6年生の取組ではありますが、全校の傾向として他学年でも参考にいただければ幸いです。6年生の個人の調査状況は、担任を通じてお知らせします。なお、今回の調査によりわかるのは、「学力」の特定の一部であり、学校における教育活動の側面に過ぎないことを申し添えます。

本校の平均正答率は、国語65ポイント・算数60ポイントで、全国平均・三重県平均に比べ、2ポイント低いですが、本校の平均と全国平均・三重県平均との差は、年々縮まっており、学校や家庭学習での積み重ねが力になっていると思われます。問題別にみると、国や県より正答率の高かった問題(強み)と正答率の低かった問題(改善内容)が明らかになっています。今後も、強みを伸ばして改善すべ



き内容に力を入れていきたいと考えます。学習は6年生までの学年の積み重ねが大切です。6年生では課題となっている調査問題を再度確認するとともに、課題となる内容を他学年でも計画的・継続的に取り組み、改善を図っていきます。

【各教科の強み(○)と改善点(▼)】

国語全体を通して

“書くこと”は、全国・三重県において課題となっています。本校においては、言葉の特徴や使い方、話すこと・聞くことの内容について改善が必要となっていますが、書くことについては、やや強みとなっています。

国語問題別

○: 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。

(問題1二)

▼: 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題がみられます。(問題3一(2))

※問題別の強みと改善点の最後の()内の問題番号は、学力学習状況調査問題の番号です。問題は、右の QR コードからご覧いただけます。

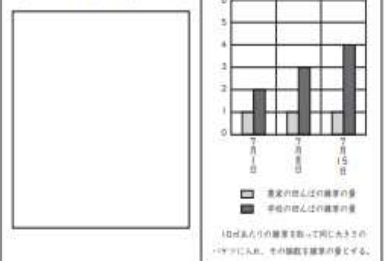
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにえさを播きました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いがい雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。みかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組む、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」のよう問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、おどの条件に合わせて書きましょう。

に学校の米作りのに入る内容を



算数 全体を通して

“図形”は、全国・三重県において課題となっています。本校では、数と計算、変化と関係、データの活用に課題が見られるため、改善が必要です。また、問題形式では、記述式、短答式の問題をにがて苦手としているようです。

算数問題別

○：示された棒グラフと、複数の棒グラフ

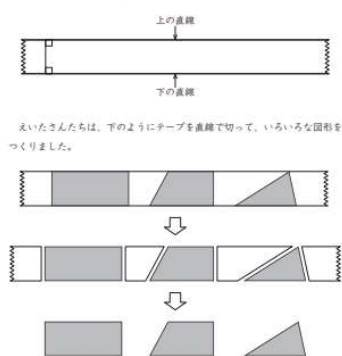
を組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述することができています。（問題4(3)）

▼：示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することが改善点です。（問題3(2)）

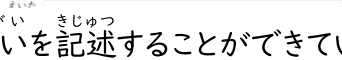
また、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることが改善点です。（問題4(2)）

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線は平行で、テープのはばはとも等しくなっています。

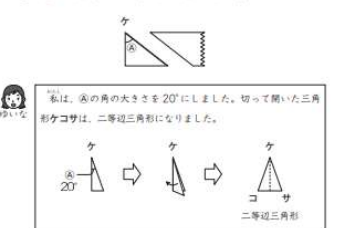


えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形をつくりました。



切り方によって、いろいろな図形ができますね。

ゆいさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の図の角の大きさをそれぞれがうたきさにしました。



私は、切った開いた三角形を正三角形にするために、図の角の大きさをゆいさんとわたるがうたきさにして切りました。

切った開いた三角形を正三角形にするには、図の角の大きさを何度にするべきでしょうか。

答えを書きましょう。

令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果（児童質問紙）

児童質問紙は、基本的な生活習慣や学校生活などの質問で構成されており、今の小学生の生活の様子をうかがうことができます。本校の児童の特徴（県や全国の状況と比較したとき差異の大きな項目）としては、学校に行くのが楽しい（91.3%）、将来の夢や目標をもっているか（89.1%）が高く、平日一日当たりどれくらいの時間勉強をしているか（1時間以上45.7%）、平日一日当たりどれくらいの時間読書をしているか（1時間以上14.1%。学校図書館等の利用率は全国より高い）の割合が低い様子が見られます。学習時間、読書量（時間や量だけでなく内容も含め）については、課題と捉え、取り組んでいきます。学習内容の確実な定着のため、ご家庭でも、学習や読書の環境づくり、お子様の見守りや声掛けなど、ご協力をお願いします。また、昨年度まで調査項目にあり本校の課題として取り上げていた、ゲームの使用時間等の調査については、今年度はありませんでした。学習時間の課題と合わせて、今後も注視していきます。

質問番号	質問事項										
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	12.0	7.6	26.1	37.0	13.0	3.3				1.1	0.0
三重県（公立）	8.4	13.6	32.0	29.5	11.6	4.9				0.0	0.0
全国（公立）	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6				0.0	0.1

